

経001

項目名

スマートエネルギータウン構想推進事業費

予算書項目

地域経済活性化促進事業費

ページ

61

年度

R7

所 属 名

経済観光部
経済・雇用戦略課

会計名

一般会計

款

商工費

項

商工費

目

商工業振興費

(単位：千円)

補正前額

717,228

要求額

11,005

総務部長段階査定額

11,005

市長段階査定額

11,005

区 分

補正額

財源内訳

国・県支出金

3,622

地方債

0

その他

0

一般財源

7,383

計

11,005

その他財源の内訳

分担金

0

負担金

0

使用料

0

手数料

0

財産収入

0

寄付金

0

繰入金

0

贈収入

0

その他

0

備 考 欄

事業の概要

【問合せ先】スマートエネルギータウン推進室 0857-30-8288

【11次総の施策体系】2101、2102 ●実施計画

【事業の経過及び背景】
本市は、SDGs未来都市計画に基づき再生可能エネルギーの地産地消を核とした持続可能な中山間地域のモデルづくりを進めているところである。
用瀬町では、地域住民が主体となり小水力発電所を建設・運営し、その売電収益を活用して地域活動や農道整備等の公益的事業を行う「地域主体型再エネ事業」に取り組んでおり、持続可能な地域づくりを図っている。

【事業の目的及び効果】
地域主体型再エネ事業に取り組んでいる地域団体に支援を行い、持続可能な再エネ事業の構築や、地域活力の維持向上を図る。

【事業の内容】
地域主体型再エネ事業に取り組む地域団体が管理運営している再エネ発電設備の災害復旧に要した経費に対し一部を助成する。
補助金額：10,867千円
補助率：1/2（負担割合：県1/6、市1/3）

経002

項目名

あおや和紙工房管理事業費

予算書項目

伝統産業等支援事業費

ページ

61

年度

R7

所 属 名

経済観光部
経済・雇用戦略課

会計名

一般会計

款

商工費

項

商工費

目

商工業振興費

(単位：千円)

補正前額

22,641

要求額

199

総務部長段階査定額

199

市長段階査定額

199

区 分

補正額

財源内訳

国・県支出金

0

地方債

0

その他

0

一般財源

199

計

199

その他財源の内訳

分担金

0

負担金

0

使用料

0

手数料

0

財産収入

0

寄付金

0

繰入金

0

贈収入

0

その他

0

備 考 欄

事業の概要

【問合せ先】地域経済係 0857-30-8282

【11次総の施策体系】2103

【事業の経過及び背景】
あおや和紙工房は、青谷地域の中核施設として因州和紙のPRと青谷地域の活性化を目指し、平成14年度に設立された。開館から20年以上が経過し、施設の老朽化に伴い修繕費が増大している。
今年度実施した建築基準法に基づく特定建築物定期点検（12条点検）において、非常用照明のバッテリー切れが確認された。当該機器は設置から長期間が経過しており、耐用年数を大きく超過していることから、修繕では対応が困難な状況であるため、機器本体の交換を行う。

【事業の目的及び効果】
老朽化により耐用年数を超過した非常用照明を更新し、法令遵守と施設利用者の安全確保を図ることで、災害や停電時にも安心して利用できる環境を整備する。

【事業の内容】
非常用照明の交換 199千円

経003

項目名

各種金融対策利子補助金(重点支援地方交付金)

予算書項目

中小企業金融対策費

ページ

61

年度

R7

所 属 名

経済観光部
企業立地・支援課

会計名

一般会計

款

商工費

項

商工費

目

商工業振興費

(単位：千円)

補正前額

37,295

要求額

7,296

総務部長段階査定額

7,296

市長段階査定額

7,296

区 分

補正額

財源内訳

国・県支出金

3,647

財源内訳

地方債

0

財源内訳

その他

0

財源内訳

一般財源

3,649

財源内訳

計

7,296

その他財源の内訳

分担金

0

その他財源の内訳

負担金

0

その他財源の内訳

使用料

0

その他財源の内訳

手数料

0

その他財源の内訳

財産収入

0

その他財源の内訳

寄付金

0

その他財源の内訳

繰入金

0

その他財源の内訳

贈収入

0

その他財源の内訳

その他

0

備 考 欄

事業の概要

【問合せ先】企業支援係 0857-20-3223

【11次総の施策体系】2101

【事業の経過及び背景】
経済環境等の悪化により地域経済に大きな影響を及ぼすもののうち、鳥取県商工労働部長が指定した経済変動事象に指定された地域経済変動対策資金を利用した際に、その借入時の負担を軽減する必要がある。

【事業の目的及び効果】
借入における利子負担を軽減することにより、事業に必要な資金借入を促進することで、市内中小企業者等の事業継続を図る。

【事業の内容】
県との協調融資である地域経済変動対策資金（燃油及び原材料価格高騰、円安、為替相場の急激な変動等）を借り入れた市内の中小企業者等に対し、3年間、その利子相当額の一部を補助する。今後も新規融資の申込に伴う補助金申請件数の増加が見込まれることから、増額するもの。
(県指定の経済変動事象)
(1) 令和3年度燃油価格の高騰（融資利率：1.43%）
(2) 令和4年度燃油及び原材料価格の高騰・円安（融資利率：1.43%）
(3) 令和5年度エネルギー・原材料価格の高騰（融資利率：1.43%）
(4) 令和6年度エネルギー・原材料価格の高騰（融資利率：1.43%）
(5) 令和6年度為替相場の急激な変動（融資利率：1.43%）
(6) 令和7年度為替相場の急激な変動（融資利率：1.50%）
(7) 令和7年度アメリカの関税引き上げ（融資利率：1.50%）
(8) 令和7年度米国関税の影響（融資利率：1.63%）
※補助率 2/3（補助額内訳：県1/3、市1/3負担）
決算見込額44,591千円－予算額37,295千円＝7,296千円

経004

項目名

企業誘致推進費

予算書項目

企業誘致促進事業費

ページ

61

年度

R7

所 属 名

経済観光部
企業立地・支援課

会計名

一般会計

款

商工費

項

商工費

目

商工業振興費

(単位：千円)

補正前額

77,685

要求額

△ 55

総務部長段階査定額

△ 55

市長段階査定額

△ 55

区 分

補正額

財源内訳

国・県支出金

0

財源内訳

地方債

0

財源内訳

その他

0

財源内訳

一般財源

△ 55

財源内訳

計

△ 55

その他財源の内訳

分担金

0

その他財源の内訳

負担金

0

その他財源の内訳

使用料

0

その他財源の内訳

手数料

0

その他財源の内訳

財産収入

0

その他財源の内訳

寄付金

0

その他財源の内訳

繰入金

0

その他財源の内訳

贈収入

0

その他財源の内訳

その他

0

備 考 欄

事業の概要

【問合せ先】誘致・振興係 0857-20-3225

【11次総の施策体系】2102 ●実施計画

【事業の経過及び背景】
人口減少・高齢化の進行を踏まえ、本市の持続・発展に向け、積極的に企業誘致に取り組んでいる。県内外の企業の進出や設備投資に向けた動きが活発化している。

【事業の目的及び効果】
本市への企業立地を促進することにより、民間投資の呼び込みによる税収増及び雇用創出を図る。

【事業の内容】
(1) 人件費の決算見込みによる減額 △124千円
(2) 郵送料の決算見込みによる増額 69千円

経005		項 目 名		砂の美術館管理運営費	
予算書項目		観光施設整備事業費		ページ	63
年度		R7		所 属 名	
				経済観光部 観光・ジオパーク推進課	
会計名					
一般会計					
款	商工費				
項	商工費				
目	観光費				
(単位：千円)					
補正前額		50,615			
要求額		6,615			
総務部長段階査定額		6,615			
市長段階査定額		6,615			
区 分		補正額			
財 源 内 訳	国・県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	6,615			
	計	6,615			
備 考 欄					

事業の概要

【問合せ先】観光政策係 0857-30-8291

【1 1 次総の施策体系】2202 ●実施計画

【事業の経過及び背景】
砂の美術館は平成18年に第1期展示を開始し、平成24年に世界初となる屋内砂像展示施設としてオープンした。平成30年1月に利用料金制へ移行し、指定管理者による管理運営を行っている。

【事業の目的及び効果】
開館から10年以上が経過し砂像に使用する砂の形質変化等が進んでいることから、ストックしている砂との入れ替えや新たな砂の確保などを行う必要がある。

【事業の内容】
砂像制作作用砂入替業務（300m³）等 6,615千円